東 地 協 ニ ュ ー ス 2014.12 第 27 号

一般社団法人 東京都
地質調査業協会

“ 熱 い 思 い ”

副会長　　長谷川　俊彦

協会員の皆様こんにちは！

5月に開催されました第30回通常総会で網代副会長の後任として選任されました長谷川です。なにとぞよろしくお願いいたします。

就任して半年以上過ぎましたが今まで総会にしか出席したことがなく協会内部での活動経験はありません。内部事情が良くわからない中で網代会長、前田事務局長、各委員会の委員長・委員の方々に教えて頂きながら少しでもお役に立てればと思って活動に取り組んで参りました。

皆様もご承知のように当協会は会員数が年々減少してきており、協会の運営・発展のためには何とか会員数の増強をはからなければならない状況にあります。

このような事情の中、東京都総務局防災管理課、建設局技術管理課及び都議会議員（自民党・民主党）への陳情等に、網代会長、各部委員長の皆様と一緒に私も参加させて頂きました。また理事会、総務委員会等にも出席させて頂き意見交換をさせてもらいました。

そこで私は「東地協をもっと盛り上げたい」、「協会員を増やしたい」、「そのためには協会員としてのメリットをもっと拡大したい」といった協会理事、または委員としての責任感や使命感のような皆様の“熱い思い”を強く感じさせられました。それぞれ会社の仕事が忙しい中、時間をやりくりしながらの協会活動を一生懸命やられている皆様の姿に頭が下がる思いです。

この熱い思いは網代会長の活動方針でもありますので私もお手伝いできるように、皆様に負けないような熱い思いで頑張りたいと思っております。

これからも会員の皆様の協会に対する熱いご協力とご支援をよろしくお願い申し上げます。

● 会議報告等

○ 理 事 会

1．平成26年度　第4回

日時：平成26年7月17日（木）

(1) 前回議事録の確認
(2) 入会案内について
(3) 東京都総務局との打ち合わせについて（7月7日）
(4) 平成27年度東京都予算要望について
(5) 関東協会の一般社団法人化について
(6) 総務委員会関係
　1）東地協ニュース27号について
(7) 広報委員会関係
　1）委員会報告（平成26年6月6日）
(8) 技術委員会関係
　1）委員会報告（平成26年6月12日，7月8日）
(9) 日本地球惑星科学連合2014大会 報告
　(4月28日～5月2日　於：パシフィコ横浜　会議センター)
(10) 東京都・災害協定について
　1）実施体制、連絡系統の更新　※ 毎年7月1日に行う
　2）港湾局現地対策本部連絡協議会（7月9日）
(11) 平成26年度防災展示について
(12) ボーリング安全衛生特別教育講習会
　10月3日　座学　　於：測量地質健保会館
　10月4日　実技　　於：東邦地下工機(株)
(13) 暑中広告掲載（公共事業展望特集）について
(14) 収支報告(平成26年5月～6月)
(15) 国分寺市湧水等保全審議会 委員委嘱について
(16) 平成26年度 第3回理事会（関東協会）
(17) 平成26年度 第1回代表理事連絡会議（全地連）

2．平成26年度　第5回

日時：平成26年9月25日（木）

(1) 前回議事録の確認
(2) 会員の入会について
　大建基礎(株)　　※ 10月1日付け入会
(3) 会員の入会促進について
(4) ボーリング安全衛生特別教育講習会
　後援：関東協会，全国さく井協会，日本アンカー協会，
　　全国特定法面保護協会，東邦地下工機(株)
(5) 地盤調査費の助成制度創設(葛飾区)について
(6) 総務委員会関係
　1）東地協ニュース27号について
(7) 広報委員会関係
　1）技術パンフレットの作成について
(8) 技術委員会関係
　1）改訂版 地盤調査の実務(関東協会）執筆依頼の件
　2）委員会報告（9月10日）
(9) 平成27年度東京都予算要望について
　民主党　　9月2日(火)　要望書の提出とヒアリング
　自民党　　9月3日(水)　要望書の提出のみ
　東京都・建設局　　要望書の説明　他
(10) 平成26年度防災展示 報告
　1）東京臨海広域防災公園(そなエリア東京）防災展示
　　※ 関東協会主体　　(8月23日，24日)
　2）東京都･杉並区合同総合防災訓練（8月30日）
(11) 関東協会の一般社団法人化の件
(12) 都議会自民党「幹事長就任を祝う会」について
(13) 収支報告(平成26年7月～8月)
(14) 平成26年度 第4回理事会（関東協会）
(15) 平成26年度 第2回理事会（全地連）

3．平成26年度　第6回

日時：平成26年11月27日（木）

(1) 前回議事録の確認
(2) 会員の入会促進について
(3) 平成26年度事業収支見込について
(4) 地盤調査費(液状化対策)の助成について
(5) 東京都防災展と防災訓練について
(6) 総務委員会関係
　1）東地協ニュース27号について
(7) 広報委員会関係
　1）技術パンフレットの件
(8) 技術委員会関連
　1）委員会報告（10月8日，11月13日）
(9) 災害協定に伴う緊急通行車両の事前届出について
(10) 技術ノートNo.38「多摩川」川原の小石の写真借用申請
(11) ボーリング調査に関する問い合わせについて
(12) 都議会自民党「幹事長就任を祝う会」(10月10日)
(13) 関東協会の一般社団法人化の件（11月4日登記)
(14) 収支報告(平成26年9月～10月)
(15) 平成26年度第6回理事会（関東協会）
(16) 平成26年度第2回代表理事連絡会議（全地連）

☆ トピックス（協会行事紹介）

◎ 第８回分析機関見学会　（於：(株)環境管理センター）

６月 27 日（金）、『土壌環境を取り巻く最近の話題と分析見学』と題し、㈱環境管理センター東関東支社（千葉市緑区）において分析機関見学会を開催しました。

本見学会は、土壌・地下水汚染調査・対策に携わる実務者を対象に、分析業務に関する正しい技術・知識の習得を目的として隔年開催しており、好評につき今回で８回目となります。見学会は『講習』と『見学・実演』の二部構成としており、土壌・水質の分析に関して、一般環境項目、特定有害項目に係る分析の手法、原理についての基礎知識を学び、分析用試料の採取・保管、分析結果の整理といった実務上欠かせない知識の習得を図る内容としました。また、トピックスとしてアスベスト分析等の話題も盛り込む内容としました。

講習では、「特定有害項目の土壌分析、分析精度の管理、濃度計量証明書の発行」について、見学・実演では「土壌分析に関連する施設の見学」について行いました。

本見学会に参加して頂いた方（計 15 名）からは、講習の内容を「理解できた」「どちらかといえば理解できた」という声を多く寄せていただきました。また、参加者の「水・土壌の分析」への関心の内容は、アンケートを見ると試料採取の方法、分析手法とその原理、分析の精度管理についてが最も高く、次いで試料の前処理、現場簡易分析となっておりました。次回からは、その他も含め、このような声を鋭意反映させてより良いものにしていきたく思います。

最後に、㈱環境管理センターの皆様には、業務ご多忙の中、丁寧でわかりやすい説明及び案内等、見学会に大きく寄与していただきました。ここに厚く御礼を申し上げます。

なお、本見学会では、参加して頂いた皆様に CPD 認証 2.5 ポイントを付与しました。

（技術委員　五月女　寛）

◎ 東京都･杉並区合同総合防災訓練　（防災展示ブース出展）（於：和田堀公園周辺（杉並区立松ノ木小学校））

平成26年8月30日(土)9:00～12:00に、杉並区の都立和田堀公園にて、平成26年度東京都・杉並区合同総合防災訓練が行われた。当協会は昨年に続く４回目の参加となり、講演部会を中心に7名の技術委員で対応した。

訓練のシナリオは、同日８時頃、東京湾北部を震源とする震度６弱以上の非常に強い地震が発生したという想定で、陸上自衛隊．警視庁．東京消防庁をはじめとする関係機関を中心に、延べ4,490人の動員による大規模なものであった。主な訓練は、木造住宅密集地域での火災発生など、地域の被害特性に対応した訓練が行われた。

当協会は、松ノ木小学校の会場において、一般来場者等を対象に、『防災に関する展示・体験を行い、防災意識の向上を図る』ことを目的とし、地震災害、斜面災害のパネルを展示したほか、土地条件図を利用したパソコンでの地盤検索を行った。当協会ブースへの来場者数は約100名で、このうち33名の方が地盤検索を行った。協会ブースへ立ち寄る方々の興味は、残念ながらパネル展示に見入る姿はあまりなく、液状化現象実験ボトル（エッキー，エキジョッカー）は委員が触っていると来場者が寄ってくる場面がみられた。一方、地盤検索では、自分の家がどのような地盤に建っているのか？安全な場所なのか？について興味深く検索結果の説明に聞き入っていた。

今回の防災訓練の統一テーマは、「自助・共助」と「連携」であり、自分たちのまちは自分たちで守るという自助・共助の理念に基づき、地域防災力の向上を目的としたものであったが、当協会が提供した地盤検索は、自分たちのまちの地盤条件を知り、地盤災害リスクを考える上で貴重な情報であることを再認識した。今後も地質調査業協会としての社会的な役割を果たしてしきたいと感じている。

協会の展示ブース

地盤検索での説明を熱心に聞く来場者

（技術委員 照屋・平出）

◎ 平成 26 年度ボーリングマシン安全衛生特別教育講習会
（秋期 ・ 10 月 3 日～4 日）

この講習会は当協会の地質調査技術の向上に関する事業の一環として東邦地下工機株式会社様（東京都品川区）にご協力いただき実施している。受講者は協会会員に留まらず、関東協会、全国さく井協会、日本アンカー協会、全国特定法面保護協会に後援を頂き、当日は会員3名、非会員35名の計38名の参加を得た。また、今回は講習会のニーズを受け、学科講習は測量地質健保会館をお借りした。講師は本年4月開催と同様に当協会、片山浩明理事ほか東邦地下工機殿の職員の方2名によって行われた。

講義内容は、1日目に学科講習、2日目は実技講習に分かれており、学科講義はボーリングマシンに関する知識（基礎知識・構造、運転及び点検・整備）、マシンの運転に必要な一般事項に関する知識（施工・力学と電気）および関係法令・災害事例等である。

学科、実技ともに普段の作業に生かされる内容であり、学科では、関連法規など特別教育の沿革やマシン運転・作業の中にどのような危険性がはらんでいるのか、繰り返し細やかな講義が続いた。実技では、実際のボーリングマシンを使いロッドの上げ下ろしやマシン操作時に潜んだ危険性等について実践的な講義が行われ、和やかな雰囲気の中にも時に檄が飛び、各参加者は真剣に取り組む様子がうかがわれた。

実技講習終了後、2日間受講した全員に修了書の授与が行われ、講習は無事終了した。現場作業での安全・安心を確保するために多くの知識を獲得できる場として、今後も継続して開催していきたいと考えている。

1 日目 学科講習 *（於：測量地質健保会館）*

2 日目 実技講習 *（於：東邦地下工機(株)内）*

（技術副委員長 太田智之）

♪ 賛助会員 PR コーナー

＜第７回＞　モノレール鋼機(有)関東支店

山岳ボーリングの資材運搬に最適！
モノレール鋼機のモノレーター

急傾斜地用モノレール

製造・販売・設計・施工・リース・管理

モノレール鋼機有限会社

本　　社　〒420－0944　静岡市葵区新伝馬 1－2－50
TEL：(054) 252-2871　FAX：(054) 252-2856
Email：　monorail@cy.tnc.ne.jp
関東支店　〒153－0052 東京都目黒区祐天寺 2－15－17 サンタビル
TEL：(03) 3719-3110　FAX：(03) 5913-8846
Email：　mrk.kanto@cup.ocn.ne.jp

■ 会員（正会員・賛助会員）動静

(1) 会員の入会

大建基礎株式会社　　※ 10 月 1 日付け入会
代表者：大門 千彌 氏
住　所：東京都府中市分梅町 5-8-27
TEL：042-366-1551

▲ 行事日程

日 程	行事名・内容等
12 月 3 日	*(関東)* 関東地方整備局との意見交換会
1 月 15 日	*(関東・全地連)* 新年賀詞交歓会
2 月 5 日	*(東京)* 帰宅困難者対策訓練（池袋）
2 月 27～28 日 *予定*	*(関東・東京)* 平成 27 年防災展　（東京都防災展）
4 月予定	*(東京)* H27 年度 ボーリング講習会(春)
5 月予定	*(東京)* 第 31 回通常総会
5 月予定	*(関東)* 第 62 回通常総会(清算)　及び 一般社団法人 関東地質調査業協会・第 1 回通常総会

お店紹介

今回のお店は山形庄内季節創作料理「このじょ」です。
庄内の季節毎の食材にこだわって美味しい料理を提供してくれる素朴で小さなお店です。
山形・庄内の地酒も豊富に取り揃えてあり、左党にはたまりません。
キャリアウーマンから一念発起して始めた年齢不詳の庄内美人（?）の女将が店内を明るい雰囲気で仕切っています。予約して行った方がいいかもしれません。

店　　名　「このじょ」
　　（庄内弁で「このあいだ」という意味です）
住　　所　千代田区内神田 3－5－5　大同ビル一階
　　JR 神田駅西口徒歩 3 分(西口商店街薬局左折)
電　　話　03－3254－7358
営業時間　昼　11:30　～　13:30　（月曜日　休）
　　夜　17:30　～　23:30
　　（ラストオーダー　22:00）
定 休 日　土・日曜日、祝祭日

・編集後記・

日本で再びテニスブームが巻起ころうとしています。この火付け役は、今年最後まで日本中を盛り上げてくれた錦織圭。

過去にも大変なテニスブームがあり、スクールやサークル活動等で、プレーを経験された方も多くいらっしゃると思います。また、往年の名プレーヤー、ボルグ、マッケンロー、コナーズ、レンドルらをご存じの方も多いと思います。私自身も、このブームの最中、テニスに熱中し、こうした往年の名選手に憧れ、打ち方を真似たりしていました。しかし、この時、何十年後かに世界のトップ 5 に入る日本人男子選手が出てくるとは全く想像できませんでした。女子では沢松和子（ウィンブルドンダブルス優勝）、伊達公子（世界ランク 4 位）らが世界の舞台で活躍をしましたが、男子では松岡修三（世界ランク 46 位）がやっと。錦織圭は現在世界ランク 5 位ですが、今後 1 位になる可能性を十分感じさせる、こんな日本人選手は初めてだと思います。

やはり日本人が世界の舞台で活躍するのは、勇気づけられますし元気が出ます。来年の錦織から目が離せません。期待しましょう！

(M. A)

東地協ニュース 2014.12 **第 27 号**
発行・編集　一般社団法人東京都地質調査業協会
〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-6-8（内神田クレストビル）
TEL 03-3252-2963　FAX 03-3252-2971
http://www.tokyo-geo.or.jp/　E-Mail info@tokyo-geo.or.jp